



図書館だより



10月、コメの収穫時期を迎えます。日本においてコメは、縄文時代中期頃に中国から“耕作”とともに伝来したと言われています。どんなおかずにも合うコメ、美味しいですね。さて、空の青さもさわやか、澄み切った空気、スーパー猛暑のあと、恋しかった過ごしやすいつきの到来です。そうです“読書の秋”を楽しみ、本に恋するときでもあります。癒しの空間、図書館に足を運び、本に向き合う時間を過ごしてみませんか。

☆佐々中学校職場体験学習

9月26日(水)から28日(金)までの3日間、佐々中学校では2年生を対象に「職場体験学習」が行われました。

図書館では、4人の生徒がカウンター業務や書架の整理作業などを体験し、職場への理解と仕事の大変さを学びました。

このような活動を通して、少しでも多くの生徒のみなさんに、図書館が活用され親しみのある場所になっていくことを願っています。

☆館内整理・・・ボランティアの方々に感謝

9月12日(水)に、夏休み中に散逸した図書類を、ボランティアのみなさんにお手伝いしていただき整理しました。おかげで、すっきりして利用しやすくなりました。

参加されたみなさん、ありがとうございました。

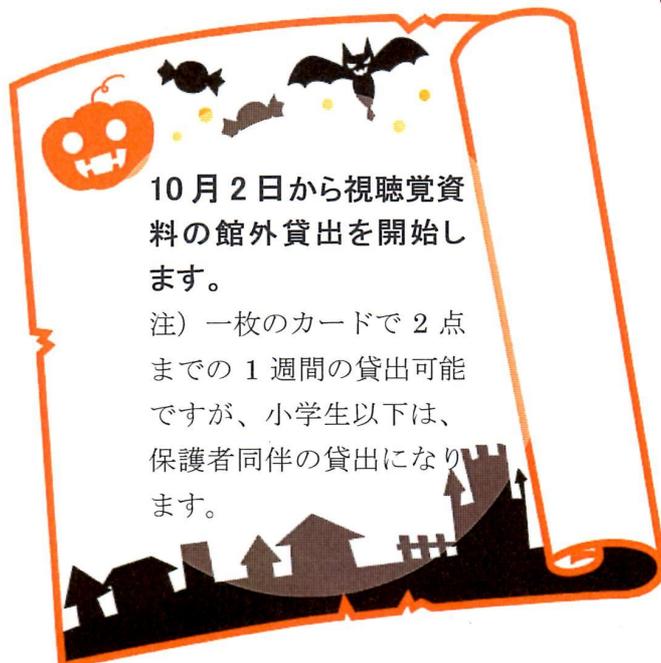


・8月の利用状況 貸出冊数:16,088冊 入館者数:14,242人

10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	☆1	2*	3	4*	5	6*
◎7	8	9	10	11*	12	13*
14	15	16	17	18*	19	20*
21	22	23	24	25*	26	27*
28	29	30	31			

◎佐々っ子学習プログラム ■休館日 *読み聞かせ





今月も新しい本が入りました!! 他にもたくさん入荷しています。
お探しの本がありましたら、お気軽に職員へお尋ねください。



《一般書》

○ゆずりは／新谷 亜貴子 著／銀の鈴社

人はなぜ生まれてくるのか。なんのために生きていくのか。どうして死んでしまうのか。生あるものにどこまでも付いて回る命題を、葬儀社の社員たちと、亡き人々の遺族たちとの交流を通して追いかける。

○烏賊墨の一筋垂れて冬の弥撒 万葉神父の日々是好日／前田 万葉 著／かまくら春秋社

秋の灯や ミサからミサへ親も子も 十字切る人の末期に時雨けり 五島列島出身の神父が、俳句に福音をのせて語る恵の書。アグネス・チャンとの対談も収録する。

《児童書》

○ぼくは泣かない 甲子園だけが高校野球ではない／岩崎 夏海 監修／廣済堂出版

日本全国で本当にあった、泣ける高校野球ストーリー。中学では不登校だったが、高校野球部ではキャプテンとなる。福島で被災し、トラウマを抱えながら野球を続ける……。野球雑誌の記者が取材で集めた、16の実話を収録する。

○本屋さんのルビねこ／野中 柊 作／松本 圭似子 絵／理論社

本屋のかたすみで、本に積もったほこりから小さなねこが生まれました。ねこは、その本屋を営んでいるモシモさんから、ルビという名前をつけてもらい、いつしか「きみはこの店の看板ねこだ」と言われるようになって……。

《絵本》

○このあかいえほんをひらいたら／ジェシー・クラウスマイヤー 文／スージー・リー 絵／石津 ちひろ 訳／講談社

赤い絵本を開くと、てんとう虫がいた。てんとう虫が開こうとしている小さな緑の絵本を開くと、だいたい色の絵本を持ったかえるが。さらに小さなだいたい色の絵本を開くと……。こんがらがった世界が広がるしかけ絵本。

○いろんな み／クララ コルマン 作／みた かよこ 訳／大日本絵画

パイナップルはどうやってなっているの？すいかの中には何がある？りんごの花は何色かな？いろんな実がどうやってなるのか、実の中がどうなっているのかを教えます。めくりを開けると、実の中がわかるしかけ絵本。

(©TRC)

● 今月の特設コーナーのご案内 ●



カウンター前：「ホッと一息 本と一息」
カウンター横：ちがいがわかる!?「世界のくらし」
学習コーナー前：元気な歳の重ね方「ビバ!シニア世代」



*** 特設コーナーの本も貸出ができますので、ご利用ください ***